

● 免疫チェックポイント阻害薬を使用する免疫療法

免疫療法とは、「免疫チェックポイント阻害薬」を使用して、免疫細胞ががん細胞を攻撃する力を保つ治療方法です。

体の中には、異物の侵入を防いだり排除したりして、体を守る「免疫細胞」があります。がん細胞のなかには、免疫細胞と結合することにより、免疫細胞にブレーキをかけ、その攻撃から逃れる仕組みをもっているものがあります。

免疫チェックポイント阻害薬は、がん細胞と免疫細胞が結合できないように邪魔をすることで、自分の免疫細胞ががん細胞を攻撃できるようにする薬のことです。

一度効果が得られると、非常に長く効果が持続する場合があります、注目されています。一方で、ブレーキが外れた免疫が自分の正常の細胞を攻撃して、副作用がでる場合があります。

2021年5月現在、当院で使用可能な、保険診療で受けることができる消化器がんに対する免疫チェックポイント阻害薬は以下の通りです。

	免疫チェックポイント阻害薬 一般名（商品名）
食道がん	ニボルマブ（オプジーボ）
胃がん	ニボルマブ（オプジーボ）
肝細胞がん	テセントリク（アテゾリズマブ）
MSI-highを有する固形がん	ペムブロリズマブ（キイトルーダ）